

2015年4月1日から2020年3月31日の間に
川崎医科大学附属病院・高度救命救急センターへ搬送された患者さんへ
—「日本航空医療学会ドクターヘリ・レジストリーへの症例登録事業ならびに効果検証」
—への協力をお願い—

研究責任者 川崎医科大学 救急医学 教授 荻野 隆光
研究分担者 川崎医科大学 救急医学 特任教授 椎野 泰和
川崎医科大学 救急医学 准教授 井上 貴博
川崎医科大学 救急医学 講師 高橋 治郎
川崎医科大学 救急医学 講師 竹原 延治
川崎医科大学 救急医学 講師 山田 祥子

1. 研究の概要

本邦におけるドクターヘリに関する診療および運航の状況を全数把握するとともに、地上救急車搬送症例との比較分析を通じてドクターヘリによる診療の効果検証を行うことを目的としています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

私たちは日本航空医療学会に所属する主要な施設と共同でドクターヘリに関する診療および運航の状況およびその診療効果を検証する研究を始めました。対象患者さんは、2015年4月1日から2020年3月31日の間にドクターヘリによって搬送を受けた全ての患者さん、および同期間内に川崎医科大学附属病院・高度救命救急センターへ地上救急車搬送された患者さんのうち外傷、急性冠症候群、脳梗塞、脳内出血、クモ膜下出血の患者さんです。

2) 研究期間

2015年10月19日から2020年3月31日

3) 研究方法

2015年4月1日から2020年3月31日の間に当院にドクターヘリあるいは地上救急車搬送された患者のうち、外傷、急性冠症候群、脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血の診断がついた患者について、その診療情報をもとに、ドクターヘリ搬送群と地上救急車搬送群について、統計学的に比較検討します。そして、それぞれの疾患群で、ドクターヘリ搬送群が救急車搬送群より予後が良いかどうかを検討します。

4) 使用する情報の種類

年齢、性別、受傷および発症の状況、病院への搬送情報（搬送記録、意識状態、脈拍、血圧、投与薬剤）、病院到着時の状態（意識状態、脈拍、血圧、投与薬剤）、病院到着後の検査結果（心電図、CT、腹部超音波）、診断名、疾患ごとの重症度、治療内容、集中治療室退室日、転院、退院時の身体機能等

5) 外部への情報の提供

この研究に使用する情報は、以下の共同研究機関に提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

これらの情報を研究中央登録機関（大学病院医療情報ネットワークデータセンター）へ登録を行い、日本航空医療学会が、他の施設のデータとあわせて解析を行います。

6) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学救急医学教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、（2020年3月31日までの間に）下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 救急科

氏名：荻野 隆光

電話：086-462-1111 内線 25511（平日：8時30分～17時）

ファックス：086-464-1044

<研究組織>

研究代表機関名 東海大学医学部附属病院

研究代表責任者 東海大学医学部 救命救急科 教授 中川 儀英

関連施設

旭川赤十字病院 ほか

全国53のドクターヘリ基地病院

3. 資金と利益相反

この研究は日本航空医療学会の資金で実施され、当施設で必要となる諸経費には研究責任者の教員研究費が用いられます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。